

トピックス ~ 冬の感染症に 注意しましょう。 ~

冬の感染症の流行シーズンになりました。感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

感染症から身を守るために

(1) 正しい手洗いを行いましょう

- ・外出先から帰宅後や調理の前後、食事前にこまめに手を洗う。
- ・ウィルスは石けんに弱いので、正しい方法で手を洗う。

(2) 免疫力を高める

免疫力が弱っていると感染しやすくなり、感染したときに症状が重くなってしまうおそれがあります。ふだんから、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。

(3) 適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って適度な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。

(4) 人混みや繁華街への外出を控える

・高齢者や基礎疾患がある方、体調不良や睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合は、マスクを着用しましょう。

(5) 飛沫感染対策としての咳エチケット

- ・普段から咳やくしゃみを人に向けて発しない。
- ・咳やくしゃみが出るときは、できるだけマスクをする。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときは、すぐに手を洗う。



理念

地域医療に貢献する。

基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
- 2 患者様の立場に立った医療を実践する。

私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。

- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
- 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
- 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

権利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。

- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

責務

- 1 患者様は当院に病状・既往歴(現況も含む)・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等ございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。
1階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。

(財)日本医療機能評価機構認定



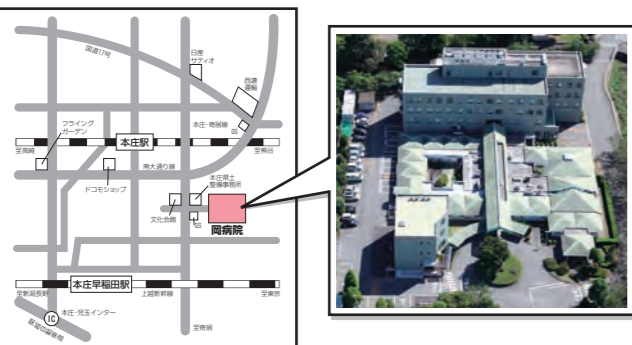
医療法人 桂水会 岡病院

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地

TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)

URL <http://www.oka-hospital.info>



発行日：平成27年1月1日

発行：岡病院

編集：広報委員会

日本医療機能評価機構認定病院

岡病院だより

Vol.42

平成27年1月1日発行



総務課 小峯 撮影

謹賀新年



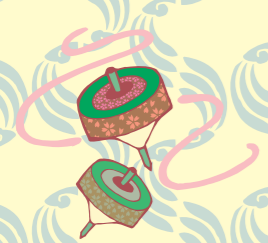
医療法人桂水会 岡病院
理事長 岡 治道

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。年頭にあたり今後病院の建設計画に対するご説明をさせていただきます。

まず皆様の駐車場に車が入れられないというご不満にお答えするため職員駐車場を病院の北側に設置致しました。更に病院と女堀川との間の土地を全て病院で借り受けここに新たに透析棟を建設致します。透析棟建設は遅くとも平成27年秋には開始したいと考えています。更に透析ベットの移転が終了後、旧透析棟へ仮設外来診療部門を移転させ現在の外来診療部門の解体を行いここに新しく外来棟を作る予定となっております。来年末より皆様方にご不便をお掛けすると思っておりますがご理解のほどよろしくお願い申し上げます。これからも安全でより高度な医療を提供できる体制づくりに邁進しますので引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ



新年おめでとう御座います

本年も満足して頂ける医療を提供致します

院長代理 今井嘉門

過日、米国のボストンで開催された心臓病の最新の治療に関する講習会に参加しました。この中で多少違和感を感じるテーマがありました。それは終末期の患者さんへの対応に関する講演でした。最新で最善の医療を尽くしても、問題を克服できない場合には死を迎えることになり、避ける事の出来ない事です。

この事に関連して思い出す事があります。入院された患者さんの呼吸状態は悪化し、人工呼吸器を付けないと正常機能を維持できなくなりました。患者さんの息子さんに状況を説明した処、息子さんは人工呼吸器の使用を希望されました。翌日、遠方に住んでいる患者さんの弟さんが来院され、人工呼吸器が装着された兄さんを見て、激怒し、何故人工呼吸器を付けたのだと詰問されました。患者さんは“延命治療を希望しない”と常々弟さんに言っていたとの事です。装着が決まった推移を説明し、患者さんの息子さんに確認して頂き、一応納得して頂きました。しかし、弟さんは大変残念だと反復して言っていました。

ある程度年齢を積まれた方は、兄弟・姉妹の間あるいは何かの仲間の間で、終末期の迎え方を話題にされる様です。しかし、ご自分の子供などに、その意思を明確に伝える事は大変少ない様です。私も医療従事者は意識のない様な重症な患者さんを診た場合、真っ先に来院された患者さんの身内、多くの場合には子供さんなどに病状を説明し、治療法を協議します。先に紹介した事例でも、患者さんが息子さんに終末期の治療に関する要望を伝えて置いて頂ければ、患者さんの意思にもっと沿った最期になったものと思われま

す。終末に関する話は、何となく話題にしたくない事柄ですが、ある程度年齢を積まれた方はご検討下さい。新年会などご家族が集まる機会に、一言自分の終末に関するご自分の希望・要望などを子供さんなどに明るく（軽く）話される事を勧めます。どんなに親子の間でも、子供の方から親に直接聞く事は、出来難い事柄ですから。ご自分の要望に沿った最期を迎えるお手伝いになればと思います。この事を記述致しました。

少しでも健やかな日々をお過ごし下さい。



副院長 尾崎俊造

新年あけましておめでとうございます。皆様もつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

平成27年の今年の干支は未（ひつじ）年でございます。干支の縁起話では、群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味していると言われております。そのため穏やかで、人情に厚い年とされています。

岡病院も患者さんには穏やかで、情に厚い医療を提供し、一方病気に対しては闘志を向けて取り組むという姿勢で、本年も気を緩めることなく、常に前向きに地域医療を担っていく所存でございます。当院では昨年より、診療部門が一般内科と透析医療主体の腎臓内科に加えて泌尿器科を開設し、医療対象が拡充されており、地域医療の必要性に応えられるよう充実を図ってきております。

さらに予防医学や健康診断、また健診後の精密検査などのために、先進的医療診断機器や技術を持って、皆様の健康をサポートしております。

超高齢化社会となった我が国でも、心身ともに健康で長寿を全うしている方はそれほど多くはないのが現実であります。特に認知症や脳血管疾患などの原因の一つとなる動脈硬化などは自覚症状が出にくいので、常日頃から積極的に検査を受けていないと、なかなか診断がつかないことが実情です。

前もって診断がつくことによって、予防や対策が可能なものもあります。

皆様もご自身の健康維持、増進のために当院をご活用いただければ幸いです。

本年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念しております。

副院長 菅原壮一

明けましておめでとうございます。昨年はエボラ出血熱、デング熱などの感染症が注目される年でした。ただ医療現場は高齢化社会になり、医療と介護の重要性が増してきています。厚生省は人口減少・超高齢社会に対応した国民生活の安心の基盤づくりとして、地域包括ケアシステムの普及を進めるとともに、医療保険制度の安定化を図るため、「医療介護改革推進本部」を設置しました。我々も今まで以上に高齢者の患者さんへの医療と介護をしっかりと対応をする必要性を感じており、さらに努力していきたいと考えています。今年もよろしくお願いいたします。

事務長 三島倉光

新年明けましておめでとうございます。昨年はアベノミクスにより給与も上がり、株価も上がり景気も良くなっていた筈でしたが私達にとりましてはただ物価も上がり、消費税も上がったのと同じように感じます。消費税の上がり分は、社会保障に使うということでしたが、年金の受給額も年々下がりますし、納付する年金も料率が上がっており、益々負担増になっているのが現状だと思います。現実には厳しいものと思いますが、我々に出来る事はいかに健康に留意できるかです。健康であれば厳しい現実に向かえることが可能ではないでしょうか。

病院に來られる方は、何がしかの病気や怪我をされて、それを直す目的を持たれています。当院は内科ですので怪我の治療は得意ではありませんが、病気につきましてはスタッフのチームワークで直すお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

特に人工透析を必要とする腎臓病・泌尿器・循環器の疾患につきましては得意分野と思っております。

また、施設についてですが、近隣の地主さんの協力を得て、病院敷地の拡張のため、申請を行っております。認可がおりましたら、旧の透析棟や透析新棟に分離する透析室を一つにまとめた、新たな透析棟を建築予定で、平成27年度中の完成を目指しております。

駐車場につきましても不足のためにご迷惑をお掛け致しましたが、拡張致します。

当院も、患者様の治療のため、スタッフの研鑽と施設の充足を図ってまいります。

当院をよろしくご依頼申し上げますとともに、本年も皆様にとりまして、良い年でありますよう御祈念申し上げます。

看護部長 小井川悦子

新年あけましておめでとうございます。よきお年を迎えることとお慶び申し上げます。岡病院をご利用いただいている皆様にとって、平成27年が平穏な1年であることを心から願っております。

社会は超高齢社会を迎え、医療・看護を取り巻く環境は大きく変化し、患者さんの抱える健康課題は複雑・多様化しています。

病院では入院・外来ともに診療・看護業務密度が高くなっていくことにどう対応していくのか、高齢化率が高まる中で安全で質の良い医療・看護の提供はどうあったらよいか、地域との連携をどう築いていくか、高齢者のターミナルケアをどうしていくか等の課題が山積しています。有限の環境の中で、効率的でしかも質の良い医療を行うためには創意と工夫がより必要になってきます。私たちはこのような社会情勢を踏まえ看護の専門職として求められる役割を果たすべく、常に学習し、感性を磨きよりよい看護を提供するための努力をします。そして当院がめざすチーム医療の取り組みは患者様の協力なくしては成り立たないことではございません。話し合い、歩み寄り、連携を図り相互理解のもとで皆様との関わりを大切に、声を聴き、耳を傾け、手を取り、歩幅を共にして一歩一歩進んでいけるそんな一年にしたいものです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。